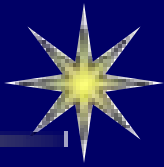



# クリティカルケア領域における SBARを用いた患者の状態報告の トレーニング



---

東北大学病院 看護管理室  
庄子由美



---

# 背景

- ✦ 医療は複数の医療従事者の協働で行われるため、チームとして機能することが重要であり、コミュニケーションが欠かせない。
- ✦ クリティカルケア領域では、患者の状態報告を正確に行う事が医療安全上重要である。





---

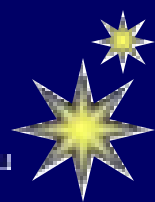
# SBAR

- ✦ 米国において2005年に開発されたTeam STEPPS (Team Strategies and Tool Enhance Performance and Patient Safety)は医療の質、安全、効率を改善するエビデンスに基づいたチームワークシステムである。
- ✦ SBARというコミュニケーションスキルがある。





# SBARとは

- ✦ SBARとは、**Situation- Background- Assessment-Recommendation**の頭文字をとったもので、「**状況・背景・判断・提案**」の4つを意識して伝えるコミュニケーションスキルである。
  - ✦ 確実なコミュニケーションの必須要素は、「**全体的**」「**簡潔**」「**明瞭**」「**タイムリー**」である。つまり、関連する一連の情報全体を、相手が理解しやすいように簡潔・明瞭に、適切なタイミングで伝えることが重要となる。
- 

# SBARに着目した理由(1)




- ✳ SBARは、コミュニケーション能力を高めるためのトレーニングツールの1つである。
- ✳ 定式化されたコミュニケーション技術により重要な情報を伝えることができる。



## SBARに着目した理由(2)

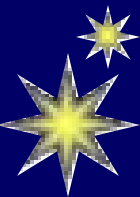
- ＊看護師は、受け持ち患者の状態変化をリーダーや医師へ報告することが頻繁にある。
- ＊報告の方法によっては相手にうまく伝わらず、患者にとって不利益を被ることもあり得る。
- ＊「わかりやすく相手に伝えること」は医療安全でも重要であり、患者の安全を守る看護師としては重要なスキルとなる。





# ICUにおけるトレーニングの実際 (1)

- ✦ SBARを用いた患者の状態報告のトレーニングに関する企画書を作成、病棟会で提案。
- ✦ 病棟(ICU10床、看護師32名)にSBARプロジェクトチーム(看護師5名)を結成。
- ✦ プロジェクトチームのメンバーに対し、SBARについて説明。





# ICUにおけるトレーニングの実際 (2)

- ✦ SBARに関する資料を作成し、スタッフ全員に勉強会を行った。
- ✦ リーダークラスの看護師に対し、ICU経験の浅い看護師から行われた患者の状態報告でわかりにくかった事例について調査した。
- ✦ 調査した事例からトレーニング場面を作成。

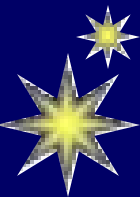






# ICUにおけるトレーニングの実際 (3)

- ✦ ICU経験の浅いスタッフがリーダー看護師に報告するという設定で、トレーニング場面におけるSBARを用いた患者の状態報告を行った。
- ✦ トレーニング実施後、SBARの理解度、情報を伝えることができたか、患者の状態が理解できたか、業務に役立つかについてアンケートを行った。

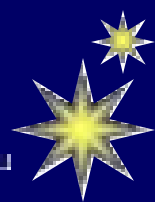


# トレーニング風景



SBARの例

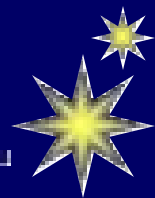
S(状況)	B(背景)	A(判断)	R(提案)
<ul style="list-style-type: none"><li>・この連絡が必要となった状況</li><li>・自分が問題としていること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・既往歴</li><li>・これまでの変化</li><li>・詳しい説明</li><li>・患者の状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分が問題と考えること</li><li>・患者の状況予測 (安定・悪化・緊急)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今必要と思われること</li><li>・具体的に指示や 指示変更が必要なこと</li></ul>





# トレーニングの効果

- ✦ ICU経験3年未満の看護師は、トレーニングにより、患者の状態報告をする時に整理して考えられるようになったと回答する者が多かった。
- ✦ 経験のある看護師は、自分が行う患者の状態報告に特に変化はないと回答しているが、経験の浅い看護師への指導に生かせるという回答があった。



# トレーニング後の取り組み



- ✳ 医師への報告時にも活用できるように、ナースステーションの電話の脇にSBARカードとメモ用紙を設置している。
- ✳ 医師からの評価について検討したが、実施できなかった。